

「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」開催を契機とした手話に関する普及啓発の取組について

1 概要

「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が令和7年11月15日～26日で開催されることを契機に区民の手話認知度向上を図るため、普及啓発活動を行う。

2 取組内容（予定）

(1) 啓発用パンフレットの配布

主に区内の児童向けに新たに啓発用パンフレットを作成。複数のイベントで配布する予定。

【晴海児童館での児童交流】

晴海児童館に中央区聴覚障害者協会と連携し、児童が実際のろう者の方と交流することに加え、啓発用パンフレットを配布する。

【区民部事業との連携】

少年・少女スポーツ教室や区民スポーツの日で児童・生徒を対象に配布する。

【健康福祉まつり】

障害者福祉課で作成しているほかのパンフレットと併せて配布。

「イメージ」

**手話の世界をのぞいてみよう**  
**「応援しよう! 東京2025デフリンピック」**

デフリンピックとは…  
 デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。  
 デフリンピックは、国際的な「聞こえない・聞こえにくい」のためのオリンピックなのです。  
 第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

2025年11月15日～26日は  
**東京2025  
 デフリンピック!!**

耳が聞こえない・聞こえにくいことは、外見からはわかりません。

駅や商業施設などの放送による案内が聞こえません。

外見では気づいてもらえない

音声による放送に気づかない

周囲の状況がわからない

正しく伝わらないことがある

自動車のクラクションなどが聞こえず、路上で危険な目に合うことがあります。

**学ぼう! デフリンピック**  
 手話をアニメーションで見ることができるサイトへつながります。

自分で声を出して話すことがうまくできない人もいます。

**おはよう**  
 1 右手でこぶしをつくり、こめかみのあたりにあてて下ろす。(「朝起きる」を表現)  
 2 両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。(「あいさつ」を表現)

**よろしくお願ひします**  
 1 右手のこぶしを鼻にあてて。(「よろしく・よい」を表現)  
 2 手を開き、頭を下げながら、手を出す。(「お願ひ」を表現)

**こんにちは**  
 1 右手の人さし指と中指を立て、人さし指側を顔にあてる。(「昼」を表現)  
 2 両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。(「あいさつ」を表現)

**ありがとう**  
 1 左手の甲に右手を垂直にのせて上げる。(カミの手刀と同様)  
 2 頭はおじぎをするように軽く下げる。

**手話以外でのコミュニケーション**

1 「筆談」によるコミュニケーション  
 途中で耳が聞こえなくなった人がよく使うコミュニケーション方法です。

2 「盲書」によるコミュニケーション  
 筆談するための紙などが無いときに役立つコミュニケーション方法です。

3 「音声」によるコミュニケーション  
 少し聞こえる人がよく使うコミュニケーション方法です。

4 「その他」の方法によるコミュニケーション  
 相手の希望や必要に応じて、コミュニケーション方法を工夫しましょう。

**手話Q&A**  
 「手話は世界共通で使える言葉?」  
 同じ言語でも国や地域によって手話も異なります。

手話は、世界共通の言葉ではありません。話し言葉や書き言葉として使われている日本語や英語などと同じように、手話も国や地域によって異なります。

発行：中央区福祉情報推進センター ☎ 03-3546-5389

(2) 区の広報媒体を通じた普及啓発

新たに作成した啓発用パンフレットを区ホームページ掲載予定。また広報紙にも掲載し、広く区民に対して普及啓発を行う。

(3) その他

障害者福祉関係部署に啓発用パンフレットを配架予定